【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】平成19年10月18日(2007.10.18)

【公開番号】特開2007-78220(P2007-78220A)
【公開日】平成19年3月29日(2007.3.29)
【年通号数】公開・登録公報2007-012
【出願番号】特願2005-264687(P2005-264687)
【国際特許分類】
Ｆ２４Ｆ　5/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２４Ｆ　5/00　M
Ｆ２４Ｆ　5/00　Q

【手続補正書】
【提出日】平成19年9月3日(2007.9.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
本体外郭の内部に圧縮機、冷媒配管、電気品を納めた機械室と、
この機械室に面した前記本体外郭の側面に設置され、冷媒バルブが取り付けられる座面を有する金属製のバルブベッドと、
このバルブベットの外側で前記冷媒バルブを塞ぐ樹脂製のサービスパネルと、
このサービスパネルに形成され、このサービスパネルを前記本体外郭の側面に固定する係止ツメと、
前記バルブベットに形成され、前記サービスパネルの係止ツメを全周にわたって覆うように収納し、前記係止ツメを前記機械室へ露呈させないポケットと、
を備えたことを特徴とする空気調和機の室外ユニット。
【請求項２】
本体外郭の内部に圧縮機、冷媒配管、電気品を納めた機械室と、
この機械室に面した前記本体外郭の側面に設置され、冷媒バルブが取り付けられる座面を有する金属製のバルブベッドと、
このバルブベットの外側で前記冷媒バルブを塞ぐ樹脂製のサービスパネルと、
このサービスパネルに形成され、このサービスパネルを前記本体外郭の側面に固定する係止ツメと、
前記バルブベットに形成され、前記サービスパネルの係止ツメを覆うように収納し、前記係止ツメを前記機械室へ露呈させないポケットと、
このポケットの下部に設けられた開口部と、
を備えたことを特徴とする空気調和機の室外ユニット。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明に係る空気調和機の室外ユニットは、本体外郭の内部に圧縮機、冷媒配管、電気

品を納めた機械室と、この機械室に面した本体外郭の側面に設置され、冷媒バルブが取り付けられる座面を有する金属製のバルブベッドと、このバルブベットの外側で冷媒バルブを塞ぐ樹脂製のサービスパネルと、このサービスパネルに形成され、このサービスパネルを本体外郭の側面に固定する係止ツメと、バルブベットに形成され、サービスパネルの係止ツメを全周にわたって覆うように収納し、係止ツメを機械室へ露呈させないポケットと、を備えたものである。

また、本発明に係る空気調和機の室外ユニットは、本体外郭の内部に圧縮機、冷媒配管、電気品を納めた機械室と、この機械室に面した本体外郭の側面に設置され、冷媒バルブが取り付けられる座面を有する金属製のバルブベッドと、このバルブベットの外側で冷媒バルブを塞ぐ樹脂製のサービスパネルと、このサービスパネルに形成され、このサービスパネルを本体外郭の側面に固定する係止ツメと、バルブベットに形成され、サービスパネルの係止ツメを覆うように収納し、係止ツメを機械室へ露呈させないポケットと、このポケットの下部に設けられた開口部と、を備えたものである。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】

本発明に係る空気調和機の室外ユニットによれば、樹脂製サービスパネルの係止ツメはバルブベッドのポケットに全周にわたり覆われ、機械室に露呈されることがないため、サービスパネルが着火して延焼した場合でも、炎が機械室に侵入するのを防止することができる。

また、本発明に係る空気調和機の室外ユニットによれば、ポケットの下部にポケット開口部を設けたので、延焼した炎がポケット開口部から機械室に侵入しやすくなるものの、上方向へ延焼する炎の影響を少なくすることができる。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】

本実施の形態１によれば、樹脂製サービスパネル６の係止ツメ６ａ，６ｂは、バルブベッド３のポケット３ａ，３ｂにわたり覆われ、機械室１ａに露呈されることがないため、サービスパネル６が着火して延焼した場合でも、炎が機械室１ａに侵入するのを防止することができる。また、バルブベッド３のポケット３ａ，３ｂが機械室１ａに開口していないので、機械室１ａの防音効果を高めることができる。